

# I 平成28（2016）年度の展望と事業運営の方針

## 1 福岡コロニーが目指すもの

私たちは、「ノーマライゼーション」理念の具現化を目指しています。

それは、あらゆる人がありのままに存在し、認め合い、共に暮らしていくことが当たり前前の社会と障害者の「完全参加と平等」を実現することです。

また、「仕事」という支えを得て社会参加し、社会に貢献することが私たちの願いであり、「仕事」は、私たちにとって「人間らしく生きることそのもの」とであると確信し、目指す社会の実現に向け挑戦を続けます。

## 2 福岡コロニーの現状と課題

今年度、福岡コロニーは創立から64年目の歴史を刻み、施設の建て替えという大きな節目の年から2年目を迎えます。昭和25年にコロニー建設準備会を結成、昭和27年に福岡コロニー協会が古賀町（現古賀市）で法人化されました。

こうして事業が始まって以来、我々が目指すものは営々として引き継がれており、その実践は、地域で生活するとともに、印刷事業を軸に働く場を拡大、障害者の自立に向けた様々な課題を克服して来た歴史でもあります。

今年度は、障害者総合福祉法の見直し、社会福祉法人改革が実施される、今までにない大きな変革の年でもあります。しかし、取り巻く環境がどう変化しても、障害者とともに「はたらく、くらす、そして地域へ」を目指すことは変わりません。

そして、「身体的または精神的な障害があっても、生活と労働の条件が適切に整っていたならば、多くの障害者は社会人として自立できるはず」という当法人の基本理念を再確認し、「当事者から学ぶ」という原点を見つめ、福祉サービスのさらなる充実と質の向上を図り、企業的経営に全員一丸となって取り組みます。

## 3 事業運営の方針

平成28年度も福祉事業、就労支援事業の収支の改善と安定化を基礎に、利用者の生活の充実と就労機会の拡大、具体的には工賃アップ、職員・従業員の処遇改善に取り組みます。そのために、社会情勢の変化に柔軟に対応できる組織づくり、人材の育成に力を入れます。さらに「当事者主体・民間としての独自性の発揮・あくなき企業性の追求」という3つのコロニーマインドを継承し、目標達成に向け挑戦を続けます。

### <基本方針>

#### 1 法人定款、各種法令の遵守

##### ①効果的で適正な社会福祉事業の運営

- ②理事会・評議員会の機能強化
- 2 経営基盤の安定と強化
  - ①利益目標の設定
  - ②経費削減の徹底
- 3 提供する福祉サービスの質の向上
  - ①人材の育成と確保
  - ②部門間の連携による組織力の強化
- 4 事業運営の透明性の確保
  - ①規程等の遵守と内部牽制の強化
  - ②決済基準の遵守
- 5 事業運営を通じた地域福祉の推進
  - ①国・県及び市・町との連携強化
  - ②社会資源としての施設の活用

#### 4 重点目標

はたらく・くらす・そして地域へ 社会福祉法人福岡コロニー

- ①虐待防止と権利擁護の徹底
- ②工賃アップと処遇改善の実現
- ③質の高いサービスの追及
- ④個人情報の適正な管理

## Ⅱ 個別計画

### 1 就労事業部

#### ① 営業部門

##### (1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度売上実績は、対目標比100.5%（対前年比101.0%）の見込みで、2年続けて目標を達成できたことは大きな成果である。具体的には、現顧客の維持・拡大に全力で取り組み、まず基礎売上を確保、さらに特化戦略を徹底した結果の新規・深耕による売上増が目標達成につながった。

28年度は、障害者優先調達推進法を官公庁、外郭団体に今まで以上に積極的に働きかけ、入札参加件数を増やし受注拡大を目指す。また、目標達成の基礎となる現顧客の維持・拡大に向けた営業活動は徹底して継続し、特化戦略を軸に計画的な営業活動を組織的に展開、新規開拓に取り組む。さらに、印刷関連だけでなく就労支援事業全般の拡充に向けた取り組みにも力を入れ、福岡コロニーが目指す「働くこと」の意味を再確認する年度にしたい。

##### (2) 平成28年度 基本方針

- ① 現顧客の維持と深耕
- ② 障害者優先調達推進法の有効活用
- ③ 福祉サービスに対応できる人材の育成

##### (3) 部門目標

- ① 売上目標 482,466千円  
    <内訳> ●営業1課 359,208千円  
            1係 191,754千円  
            2係 167,454千円  
            ●営業2課(1係) 113,538千円  
            ●商事課 9,720千円
- ②回収目標 482,000千円

##### (4) 具体的活動計画

- ① 価格競争への対応
  - ・実績物件の確保
  - ・入札物件の実績確保と新規落札

- ② 特化戦略の徹底
  - ・得意物件の受注拡大
  - ・落札物件の絞り込み
- ③ 地場企業の受注拡大
  - ・民間企業の受注拡大
  - ・リピート物件の確保
- ④ 総合的な人材の育成
  - ・個人面談、全体会議の定期開催
  - ・総合的勉強会の開催、外部研修会等への参加
- ⑤ 売掛金の完全回収
  - ・不良債権の発生防止
  - ・チェック体制の徹底（月3回）
- ⑥ 諸経費の削減
  - ・広告費等の削減
  - ・燃料費等の節約
- ⑦ 安全運転の推進
  - ・車両点検の徹底（週1回）
  - ・安全運転の啓発活動の継続
- ⑧ 健康管理の推進
  - ・自己管理の徹底
  - ・定期健診の活用
  - ・有給休暇の計画的取得

## （5）個別計画

- ①障害者優先調達推進法の有効活用
  - ・官公庁、外郭団体、一般企業への新規深耕
- ②特化戦略の徹底
  - ・ターゲットを少ロット買物に絞り展開
- ③自費出版・記念誌の需要開拓
  - ・チラシ等のポスティング
  - ・地域サークル等訪問による情報収集
- ④研修計画
  - ・個別面談：3者面談（偶数月の年6回）
  - ・全体研修会議：営業会議および福祉関連の勉強会（奇数月の年6回）

(6) 平成28年度月別売上・回収目標

| 月            | (単位千円)         |                |                |                |
|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
|              | 売上高            |                | 回収高            |                |
|              | 27年度実績         | 28年度目標         | 27年度実績         | 28年度目標         |
| 4月           | 45,305         | 47,930         | 54,052         | 52,000         |
| 5月           | 39,190         | 39,787         | 40,465         | 44,000         |
| 6月           | 38,261         | 38,394         | 39,145         | 36,000         |
| <b>第1/四</b>  | <b>122,756</b> | <b>126,111</b> | <b>133,662</b> | <b>132,000</b> |
| 7月           | 37,233         | 37,260         | 42,530         | 41,000         |
| 8月           | 36,884         | 35,618         | 31,986         | 35,000         |
| 9月           | 34,891         | 34,981         | 34,709         | 37,000         |
| <b>第2/四</b>  | <b>109,008</b> | <b>107,859</b> | <b>109,225</b> | <b>113,000</b> |
| <b>上半期実績</b> | <b>231,764</b> | <b>233,970</b> | <b>242,887</b> | <b>245,000</b> |
| 10月          | 40,422         | 39,992         | 35,050         | 40,000         |
| 11月          | 41,806         | 44,172         | 36,933         | 35,000         |
| 12月          | 41,319         | 40,770         | 42,232         | 42,000         |
| <b>第3/四</b>  | <b>123,547</b> | <b>124,934</b> | <b>114,215</b> | <b>117,000</b> |
| <b>累計</b>    | <b>355,311</b> | <b>358,904</b> | <b>357,102</b> | <b>362,000</b> |
| 1月           | 35,553         | 34,398         | 36,000         | 36,000         |
| 2月           | 39,722         | 38,048         | 34,000         | 34,000         |
| 3月           | 54,400         | 51,116         | 50,000         | 50,000         |
| <b>第4/四</b>  | <b>129,675</b> | <b>123,562</b> | <b>120,000</b> | <b>120,000</b> |
| <b>下半期</b>   | <b>253,222</b> | <b>248,496</b> | <b>234,215</b> | <b>237,000</b> |
| <b>年間合計</b>  | <b>484,986</b> | <b>482,466</b> | <b>477,102</b> | <b>482,000</b> |

|           | 実績見込み          | 目標             | AB物件           | CD物件           | 前年比          | 増減            |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|---------------|
| 1課1係      | 194,298        | 191,754        | 103,701        | 88,053         | 98.7%        | -2,544        |
| 1課2係      | 166,888        | 167,454        | 76,031         | 91,423         | 100.3%       | 566           |
| 2課1係      | 114,474        | 113,538        | 61,068         | 52,470         | 99.2%        | -936          |
| 商事課       | 9,327          | 9,720          | 7,668          | 2,052          | 104.2%       | 393           |
| <b>合計</b> | <b>484,987</b> | <b>482,466</b> | <b>248,468</b> | <b>233,998</b> | <b>99.5%</b> | <b>-2,521</b> |

(A=確実物件 B=基礎物件 C=競争・入札物件 D=新規・深耕・特需物件) 1月31日現在 (千円)

## (7) 営業1課

### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は、障害者優先調達推進法を活かした営業活動、特化戦略の徹底等で目標達成を目指した。また、受注拡大には営業活動の効率化が不可欠であり、連携による営業活動の改善にも力を入れた。今後は、実績を残した官公庁、外郭団体、一般企業からの受注をどう安定させるかが課題である。

28年度も、障害者優先調達推進法を活かした営業活動が軸になるが、定期物件を確保し、安定した基礎受注、民需拡大につなげるため全力で取り組む。

### 2) 営業1課1係

#### ①平成27(2015)年度の実績と課題

27年度売上実績は、対目標比104.1%と目標を上回った。目標達成の要因は、定期物件の落札による基礎受注の確保と高額特需物件の獲得等の受注増が上げられる。今後は、官公庁依存ではなく、民需拡大に向けた更なる意識強化が必要である。

#### ②平成28(2016)年度の活動計画

ア) 年間売上目標 191,754千円(税込)

|            | 実績見込み          | 目 標            | AB 物 件         | CD 物 件        | 前 年 比  | 増 減    |
|------------|----------------|----------------|----------------|---------------|--------|--------|
| 第I四半期      | 48,962         | 47,682         | 26,345         | 21,337        | 97.4%  | -1,280 |
| 第II四半期     | 45,375         | 44,172         | 23,758         | 20,414        | 97.3%  | -1,203 |
| <b>上半期</b> | <b>94,337</b>  | <b>91,854</b>  | <b>50,103</b>  | <b>41,751</b> | 97.4%  | -2,483 |
| 第III四半期    | 48,931         | 48,276         | 29,598         | 18,678        | 98.7%  | -655   |
| 第IV四半期     | 51,030         | 51,624         | 24,000         | 27,624        | 101.2% | 594    |
| <b>下半期</b> | <b>99,961</b>  | <b>99,900</b>  | <b>53,598</b>  | <b>46,302</b> | 99.9%  | -61    |
| <b>合 計</b> | <b>194,298</b> | <b>191,754</b> | <b>103,701</b> | <b>88,053</b> | 98.7%  | -2,544 |

(A=確実物件 B=基礎物件 C=競争・入札物件 D=新規・深耕・特需物件) 1月31日現在(千円)

#### イ) 具体的活動計画

- ・ 地場企業への新規訪問
- ・ 指名獲得、一般競争入札への積極的参加
- ・ 過去に実績のある顧客への営業活動
- ・ 距離的優位性を活かした早期対応

### 3) 営業1課2係

#### ①平成27(2015)年度の反省と課題

27年度売上実績は、対目標比103.0%と目標を達成した。目標達成の要因は、特需物件の受注拡大とともに障害者優先調達推進法の推進による随意契約物件や入札参加機会の増加である。特に、官公庁や外郭団体からのスポット物件の受注など障害者優先調達推進法の成果が見られた。しかし、一方では民需の冷え込みは激しく、需要そのものが減少傾向にある。民需の拡大には価格以上の付加価値が求められる。次年度の大きな課題である。

#### ②平成28(2016)年度の活動計画

ア) 年間売上目標 167,454千円

|         | 実績見込み          | 目 標            | AB 物 件        | CD 物 件        | 前 年 比       | 増 減        |
|---------|----------------|----------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| 第I四半期   | 41,808         | 44,874         | 18,888        | 25,986        | 107%        | 3,066      |
| 第II四半期  | 37,931         | 35,208         | 17,325        | 17,883        | 93%         | -2,723     |
| 上 半 期   | <b>79,739</b>  | <b>80,082</b>  | <b>36,213</b> | <b>43,869</b> | <b>100%</b> | <b>343</b> |
| 第III四半期 | 45,245         | 44,820         | 22,609        | 22,211        | 99%         | -425       |
| 第IV四半期  | 41,904         | 42,552         | 17,209        | 25,343        | 102%        | 648        |
| 下 半 期   | <b>87,149</b>  | <b>87,372</b>  | <b>39,818</b> | <b>47,554</b> | <b>100%</b> | <b>223</b> |
| 合 計     | <b>166,888</b> | <b>167,454</b> | <b>76,031</b> | <b>91,423</b> | <b>100%</b> | <b>566</b> |

(A=确实物件 B=基礎物件 C=競争・入札物件 D=新規・深耕・特需物件) 1月31日現在(千円)

#### イ) 具体的活動計画

- ・売上上位20社への定期訪問
- ・一般企業への新規訪問
- ・新規・深耕による受注拡大
- ・距離的優位性を活かした早期対応

## (8) 営業2課

### 1) 営業2課営業係

#### ①平成27(2015)年度の反省と課題

27年度売上実績は対目標比92.4%と目標を大きく下回った。大きな要因は営業戦略の立て方、ターゲットの絞り方などに課題が残ったこと、特化戦略による特需や深耕物件の開拓が計画通りに進まなかったことである。しかし、障害者優先調達推進法による官公庁や外郭団体からの見積依頼が増加傾向にあり、次年度は確実に実績につなげることが課題となる。

#### ②平成28年(2016)の活動計画

ア) 年間売上目標 113,538千円(税込)

|         | 実績見込み          | 目 標            | AB 物 件        | CD 物 件        | 前 年 比  | 増 減    |
|---------|----------------|----------------|---------------|---------------|--------|--------|
| 第I四半期   | 29,820         | 31,125         | 15,986        | 15,139        | 104.4% | 1,305  |
| 第II四半期  | 23,317         | 26,049         | 13,654        | 12,395        | 111.7% | 2,732  |
| 上 半 期   | <b>53,137</b>  | <b>57,174</b>  | <b>29,640</b> | <b>27,534</b> | 107.6% | 4,037  |
| 第III四半期 | 27,114         | 29,408         | 16,275        | 13,133        | 108.5% | 2,294  |
| 第IV四半期  | 29,408         | 26,956         | 15,153        | 11,803        | 91.7%  | -2,452 |
| 下 半 期   | <b>56,522</b>  | <b>56,364</b>  | <b>31,428</b> | <b>24,936</b> | 99.7%  | -158   |
| 合 計     | <b>109,659</b> | <b>113,538</b> | <b>61,068</b> | <b>52,470</b> | 103.5% | 3,879  |

(A=確実物件 B=基礎物件 C=競争・入札物件 D=新規・深耕・特需物件) 1月31日現在(千円)

#### イ) 具体的活動計画

- ・ 外郭団体への指名獲得、競争入札への参加
- ・ 特化戦略の徹底による新規・深耕
- ・ 実績のある顧客の掘り起こし



## (9) 商事課

### ①平成27(2015)年度の反省と課題

27年度の古紙回収事業は、福祉事業部との連携強化で、効率的な回収法などを検討、回収量増加に取り組んだ。しかし、新規回収先の開拓が伸びず、目標を達成することができなかった。28年度は、古紙排出量の減少、取引単価が変動する中、安定した回収先の確保と新規回収先の確保が重要である。今後は、関連業者と連携を密に回収先、回収量の拡大に取り組む。

### ②平成28(2016)年度の活動計画

ア) 年間売上目標 9,720千円 (税込)

|              | 実績見込み        | 目 標          | AB 物 件       | CD 物 件       | 前 年 比  | 増 減 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|-----|
| 第Ⅰ四半期        | 2,407        | 2,430        | 1,890        | 540          | 101.0% | 23  |
| 第Ⅱ四半期        | 2,343        | 2,430        | 1,944        | 486          | 103.7% | 87  |
| <b>上 半 期</b> | <b>4,750</b> | <b>4,860</b> | <b>3,834</b> | <b>1,026</b> | 102.3% | 110 |
| 第Ⅲ四半期        | 2,410        | 2,430        | 2,106        | 324          | 100.8% | 20  |
| 第Ⅳ四半期        | 2,304        | 2,430        | 1,728        | 702          | 105.5% | 126 |
| <b>下 半 期</b> | <b>4,714</b> | <b>4,860</b> | <b>3,834</b> | <b>1,026</b> | 103.1% | 146 |
| <b>合 計</b>   | <b>9,464</b> | <b>9,720</b> | <b>7,668</b> | <b>2,052</b> | 102.7% | 256 |

(A=確実物件 B=基礎物件 C=競争・入札物件 D=新規・深耕・特需物件) 1月31日現在(千円)

### イ) 具体的活動計画

- ・地場企業からの回収量拡大
- ・福祉事業部、協力回収業者との連携

## ② 製造部門

### (1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は、達成できなかった26年度の生産計画、その要因を精査し、各部署で具体的対策をもって目標達成に取り組んだ。品質面では、ミス内容のフィードバックを徹底、その都度作業の在り方等の見直し、管理強化に努めた。また「ミス撲滅」を重要課題として取り組んでいるが、目標とする結果までには至っていない。生産面では、課内の配置転換を行い効率化を図るとともに、後工程を中心に組織を強化した。また、在宅オペレーターの有効活用で制作部署の効率化を実現、超過勤務の削減に成果が上がった。値上げに伴う材料費の増加や短納期対応で外注費が増えたが、全体的な収支は何とか計画どおりで推移した。

### (2) 平成28(2016)年度の活動方針

28年度は、工務主導の工程管理を徹底し、品質管理・稼働率向上等に継続して取り組む。さらに、設備関係のメンテナンスに重点的に取り組み、修理に費やす経費削減にも力を入れる。また、最重要課題である外注費や人件費の削減、作業の効率化を図り、経費全般の削減に努め、生産計画達成を目指す。

#### 1) 重点目標

##### ① 工程管理の確立

- ア) 作業調整機能の確立
  - ・ 営業及び製造のリアルタイム情報把握
  - ・ 工務主導による工程調整
- イ) 工数管理
  - ・ 工数計算による工数把握と確実な生産計画
  - ・ 工程管理（工数把握）による内製強化
- ウ) 製販会議の定例化
  - ・ 営業部門と連携強化

##### ② 品質管理

- ア) チェック機能の確立
- イ) 教育・訓練計画によるスキルアップ
- ウ) 職場会議の定例化

##### ③ 稼働率の向上

- ア) 部門間の連携による短納期対応
- イ) あけぼの園と連携強化

④生産計画

ア) 材料費・外注費・超過勤務・人員計画

|         | 27年度実績（見込み）       | 28年度予算            | 比率    |
|---------|-------------------|-------------------|-------|
| 材 料 費   | 97,822,760 円      | 96,630,000 円      | 98.8% |
| 外 注 費   | 87,253,713 円      | 82,950,000 円      | 95.1% |
| 超 過 勤 務 | 8,662.7 時間 （44 名） | 8,605.0 時間 （44 名） | 99.3% |
|         | 一人当たり 196.9 時間    | 一人当たり 195.6 時間    | 99.3% |

イ) 設備計画

制作課

|     | 28年度予算    | 用途                       |
|-----|-----------|--------------------------|
| 設 備 | 600,000 円 | パソコン 3 台・編集ソフト 3 本 (CS6) |

印刷課

|     | 28年度予算      | 用途   |
|-----|-------------|--|
| 設 備 | 4,145,000 円 | リスロン 4 色機インキツボキー 2 胴分交換<br>中型断裁機（中古）購入 その他 |

⑤加工高比率 目標 62.28%

### (3) 工務課

#### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は、日々変化する受注状況や作業内容を速やかに把握、分析し、環境の変化に対応できる「工程管理・生産計画」の改善に取り組んだ。工程管理は、工務・営業・製造間の連携強化を図られ、計画的な作業調整ができた。

外注費は、内製が可能な物件については、各部署連携し徹底して内製強化に取り組んだが、目標を達成できなかった。現状を精査して取り組みを継続する。超過勤務に関しては、丁合機を導入したことで入紙作業の機械化が進み、印刷部門全体での超過勤務減少へと繋がっている。材料費は、用紙の値上げで予算増となるが価格交渉を継続し、今後も材料費削減に努める。

#### 2) 平成28(2016)年度重点目標

常に変化する受注状況の把握、人の動きや機器等の現有システムを考えながら、その時々に対応できる工程管理手法の検討・試行に取り組む。またターゲットを絞った内製強化の取り組みを継続し、コストダウンを目指す。

##### ①工程管理の確立

###### ア) 作業調整機能の確立

- ・工務主導による早期情報収集・関係部署との連携
- ・工程管理手法の見直しと改善案の試行
- ・進捗回覧・進捗システム・進捗会議の有効活用

###### イ) 工数管理

- ・大物物件の進捗状況の把握と早期対応で納期遵守

###### ウ) 製版会議の定例開催による営業・製造間の連携強化

##### ②品質管理

###### ア) 作業の標準化・ルール遵守・「報・連・相」の徹底

###### イ) 係員の連携強化と意識の向上

###### ウ) 職場会議の定例開催の継続（提案・意見交換）

##### ③稼働率の向上

###### ア) 各部署との連携による計画的工程管理

###### イ) 端物印刷の効率化（あけぼの園との連携）

###### ウ) 工務内作業のスリム化・整理整頓

④生産計画

ア) 材料費・外注費・超過勤務・人員計画

|      | 27年度実績（見込み） | 28年度予算      | 比率    |
|------|-------------|-------------|-------|
| 外注費  | 35,155,020円 | 32,000,000円 | 91.0% |
| 超過勤務 | 201.4時間（3名） | 195.0時間（3名） | 96.8% |
|      | 一人当たり67.1時間 | 一人当たり65.0時間 | 96.9% |

イ) 設備計画

2017年4月にウィンドウズ VISTA のサポート終了が決定。  
進捗システム用パソコン（23台）の今後の対応について検討。

#### (4) 制作課

##### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は、効率的な作業配分と各班の連携を軸に、超過勤務削減を重点目標として取り組み、日々の調整を密にすることで目標を達成した。人材の育成は、個々人の意識改革に取り組み、ミス減少等で成果が見られている。さらに、ミス・ロス削減対策チーム、啓発活動、各班でのミーティング等も成果につながっており、今後も継続して取り組む。また、名刺・ハガキ印刷機を新規導入、工程の簡素化でコストダウンやミス・ロス削減、短納期対応にもつながった。次年度もコストダウンに継続して取り組む。

##### 2) 平成28(2016)年度の活動方針

28年度は、作業の効率化に向けたシステム作りを軸に、品質の向上と人材の育成を重点目標とする。また、オンデマンド印刷の稼働向上とドキュプリンターの有効活用に取り組み、生産計画の目標達成を目指す。

##### 3) 平成28(2016)年度の重点目標

###### ① 工程管理の確立

- ・進捗会議の情報を係全体で共有

###### ② 品質管理

- ・ミス・ロス削減対策チームの活性化

###### ③ 稼働率の向上

- ・コスト削減に向けたシステム作り
- ・オンデマンド印刷機、ドキュプリンターの有効活用

###### ④ 生産計画

###### ア) 材料費・外注費・超過勤務・人員計画

|      | 27年度実績(見込み)     | 28年度予算          | 比率    |
|------|-----------------|-----------------|-------|
| 材料費  | 11,527,060円     | 11,330,000円     | 98.3% |
| 外注費  | 14,492,160円     | 14,150,000円     | 97.6% |
| 超過勤務 | 4,872.6時間 (24名) | 4,860.0時間 (25名) | 99.7% |
|      | 一人当たり 203.0時間   | 一人当たり 194.4時間   | 95.8% |

###### イ) 設備計画

|    | 28年度予算   | 用途                  |
|----|----------|---------------------|
| 設備 | 600,000円 | パソコン3台・編集ソフト3本(CS6) |

<内訳>

①パソコン3台・編集ソフト(CS6・office) 600,000円

#### 4) 制作係

①平成28(2016)年度の重点目標

ア) 工程管理の確立

a) 進捗会議の活用とミーティング(作業配分)による作業の平均化

イ) 品質管理

a) ミス・ロス削減対策チームによる再発防止策の検討

b) ドキュプリンターの活用による品質の向上

ウ) 稼働率の向上

a) 各班(4班)の連携と個人のスキルアップ

b) オンデマンド印刷の推進とドキュプリンターの有効活用

c) 営業間の情報共有とダイレクト物件の低コスト化

エ) 生産計画(材料費・外注費・超過勤務・人員計画)

a) 材料費

・オンデマンド印刷・ドキュプリンターへの推進によるCTPの削減

b) 外注費

・在宅オペレーター(外注)の有効活用

・内製可能物件の内製化強化

c) 超過勤務

・4班間の連携強化

・在宅オペレーター(外注)の有効活用

・編集オペレーターの作業量の平均化・調整

## (5) 印刷課

### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は、2係を1係に統合して課内の作業効率の改善、連携強化を図り、短納期対応に力を入れた。作業が効率的に流れ、作業環境も改善された。また、5月よりミス・ロス削減対策チームを立ち上げ、係全体でミス削減に取り組み、成果が見られた。材料費は、用紙の値上がりが予算を上回る大きな要因となった。超過勤務の削減は目標を達成、今後も作業の効率化に取り組む。

### 2) 平成28(2016)年度の活動方針

28年度も、課内の連携を密にして、効率的な作業環境作りを目指し、更なる生産力の向上に取り組む。「内製可能物件をどう内製するか」を課題に、従前は外注に依存していた物件にターゲットを絞り内製強化に取り組む。また、人材育成にも力を入れ、目標達成を目指す。

### 3) 平成28(2016)年度の重点目標

#### ① 工程管理の確立

- ・進捗会議の情報を係全体で共有

#### ② 品質管理

- ・ミス・ロス削減対策チームの活性化

#### ③ 稼働率の向上

- ・内製化に向けた作業環境作りと意識改革
- ・変則勤務体制の活用

#### ④ 生産計画

##### ア) 材料費・外注費・超過勤務・人員計画

|      | 27年度実績(見込み)     | 28年度予算          | 比率     |
|------|-----------------|-----------------|--------|
| 材料費  | 86,295,700円     | 85,300,000円     | 98.8%  |
| 外注費  | 37,606,533円     | 36,800,000円     | 97.9%  |
| 超過勤務 | 3,588.7時間 (17名) | 3,550.0時間 (16名) | 98.9%  |
|      | 一人当たり211.1時間    | 一人当たり221.9時間    | 105.1% |

##### イ) 設備計画

|    | 28年度予算     | 用途                                     |
|----|------------|--|
| 設備 | 4,145,000円 | リスロン4色機インキツボキー2胴分交換<br>中型断裁機(中古)購入 その他 |



#### 4) 印刷係

##### ①平成28(2016)年度の重点目標

###### ア) 工程管理の確立

- a) 進捗会議の活用
- b) 作業量の把握と内製化に向けた工程作り

###### イ) 品質管理

- a) ミス・ロス削減対策チームによる再発防止策の検討
- b) 個別指導による品質の安定化

###### ウ) 稼働率の向上

- a) 作業の分業化とマルチ要員の育成

###### エ) 生産計画(材料費・外注費・超過勤務・人員計画)

###### a) 材料費

- ・ミス・ロス削減の取り組み
- ・在庫管理の徹底

###### b) 外注費

- ・外注依存物件の内製強化

###### c) 超過勤務

- ・マルチ要員の育成
- ・変則勤務体制の活用

## 2 福祉事業部

### (1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度も、福祉事業部として永遠のテーマである「利用者サービスの質の向上」への取り組みを最優先課題として、日々実践した。そのための大前提である職員の質的レベルアップに力を入れ、さらに事業所間の情報共有化を徹底、連携による組織力の強化に重点的に取り組んだ。ケース記録の回覧や各種連携会議（課長、係長、主任、看護師、栄養士）が定例化され、サービス内容の統一性、一貫性の実現が進んでいる。また、なのみの里課、なのみ工芸課、コロニー課、あけぼの園課の各部門で独自のニーズがあり、個性のあるサービス提供にも取り組み、連携と個別化をうまく融合させ、目指す目標達成に一丸となって取り組んでいる。さらに、支援センター・ちどり、咲、虐待防止センター、さくらんぼキッズ、ひびきの里などで、複雑多岐にわたる福祉ニーズへの対応にも取り組み、さらに質の高いサービス提供を目指している。

### (2) 平成28(2016)年度の活動方針

- 1) 利用者サービスの質の向上
  - ①個別支援計画の見直しと計画的な実施
  - ②事業ごとの特色ある充実した活動の展開
  
- 2) 職員の質の向上と内外研修の充実
  - ①カンファレンスの定期的実施と内容の充実
  - ②外部研修や施設実習への積極的な参加
  
- 3) 事業所間の連携強化と情報共有化
  - ①報告・連絡・相談の速やかな実行と徹底
  - ②業務別連携会議や合同研修の実施
  
- 4) 制度への対応
  - ①障害者総合支援法・相談支援の充実
  - ②障害者虐待防止法への対応
  - ③障害者優先調達推進法への対応
  - ④利用者確保による福祉事業収入の安定
  
- 5) 安全衛生管理・健康管理の徹底
  - ①安全衛生委員会の充実
  - ②各種マニュアルの見直しと整備

### (3) なのみ工芸課

#### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は、なかまを取り巻く生活環境が変化する中、地域生活の実現に向けたグループホームの開設、地域との連携強化を目標に取り組むとともに、授産活動、就労支援、生活支援等、提供するサービスの意義を考え、ニーズの掘り起こしを進めた。また、地域との連携も重点課題として取り組み、近隣の小・中・高等学校との交流や喫茶ひびきの里を中心とした地域活動を展開、さらに古賀市就労部会への積極的参画を通して授産活動や就労支援を発展させることができた。28年度は「グループホーム」を開設し、生活の場を提供することに取り組む。また、一人ひとりの働く権利、生活する権利を守り、より充実した毎日が過ごせるように日々の実践に取り組む。

#### 2) 平成28(2016)年度の活動方針

平成28年度は「権利擁護」の視点から、なかま一人ひとりの生活を地域と連携しながら支援する体制を構築することを目標とする。

また、古賀市就労部会活動の広域実施に向けた取り組みが「古賀市、福津市、新宮町障害者地域支援ネットワーク協議会事務局会議」で検討されることから、部会長施設としてリーダーシップを発揮し、更に就労に向けた活動実績を積み重ね、地域貢献を果たす。

### 3) 収入計画

①総収入(見込み) 104,213千円

#### ②事業別内訳

福祉事業活動収入 74,923千円

(就労継続支援B型・就労移行支援)

就労支援事業収入 29,290千円

(さをり織り、食品加工、公園管理、喫茶ひびきの里、簡易作業)

### 4) 重点目標

①権利擁護に関する理解と意識向上

②地域との連携

## 5) 具体的活動計画

### ①権利擁護

- ・虐待防止に関する事例検討、チェックリストの活用
- ・職員一人ひとりのスキルアップへ向けた日々の支援活動
- ・権利擁護委員会（県知障協）への参加と研修会の実施
- ・定期職員会議の実施（虐待防止委員会）

### ②サービスの質の向上

- ・なかま一人ひとりのニーズの掘り起こし
- ・ライフステージに添った支援の提案・実施
- ・相談支援事業所を軸に関係各機関との連携
- ・サービス等利用計画に沿った個別支援計画の作成
- ・なかま、家族との連携による個別支援計画の充実

### ③地域への関わり

- ・古賀市障害福祉サービス事業者連携会議への参加
- ・新宮町・福津市を含めた広域の福祉機関との連携
- ・なかまを取り巻く生活環境の変化への柔軟な対応
- ・インフォーマル機関との共同学習
- ・コミュニティーへの積極的参加

### ④情報発信

- ・地域交流の原点としての活動（社会資源としての責務）
- ・施設開放行事、交流会の継続
- ・喫茶ひびきの里を中心とした地域交流
- ・地域コミュニティーへの積極的な参加

### ⑤各事業の取り組み

#### <就労継続支援B型事業>

- ・新たな授産活動の摸索
- ・コストを意識した授産活動の実施（目標工賃の達成）
- ・古賀市就労部会職場体験の有効活用
- ・一般就労に向けた各授産活動でのスキルアップ
- ・なかま一人ひとりの個性の発信
- ・安全衛生への意識向上
- ・安全配慮への意識、体力強化

- ・品質管理、納期厳守の学習
- ・接客マナーの学習

#### <就労移行支援事業>

- ・連携による就労支援体制の強化
- ・ビジネスマナーの訓練と習得（挨拶、ことば使い）
- ・職場見学・体験、職場実習の実施
- ・定着支援の充実
- ・地域生活移行に向けた支援

#### ⑥健康管理

- ・基礎体力の向上（作業や行事を活用）
- ・感染症予防の徹底（消毒、衛生管理）
- ・健康管理への迅速な対応（嘱託医師との連携）
- ・健康相談（月1回の嘱託医師）の実施
- ・定期健康診断（年2回）の実施

#### ⑦給食

- ・健康管理とのリンク
- ・美味しく楽しい食空間の提供
- ・嗜好調査結果の有効活用

#### ⑧安全衛生

- ・なのみ安全衛生委員会の活性化
- ・交通安全に関する研修の実施
- ・啓発活動の継続実施（消防署、警察署との連携）

### 6) 障害者就業・生活支援センターちどり

#### ①平成27（2015）年度の反省と課題

27年度の実績は、1月末現在で就職件数が32件（目標30件）、実習件数が30件（目標35件）である。しかし、利用者の要望に対して、企業等へ障害者雇用の社会的な意義、その重要性を丁寧に伝えた結果、対応件数は2,358件（昨年実績1,643件）と大幅に伸びた。さらに、関係機関との協力体制の構築では、生活困窮者自立支援法施行に伴い、圏域の自立相談支援事業所と連携し、障害のある方の潜在する求職ニーズに対応した（31件）。また、業務連絡会議の開催により障害者雇用の底上げを図った。

②平成28（2016）年度の活動方針・重点目標

- ・ 整合を重視し、引き続き『より長く働く』ことへの支援の実施
- ・ さらなる活動の広がりを図り、個々へ丁寧な支援
- ・ 在職者交流会の充実と定着支援の実施

③具体的活動計画

ア) 実績目標 就職件数：35件 実習件数：35件

イ) 関係機関との協力体制の構築

- ・ 精神障害者、発達障害者の雇用への支援
- ・ 生活困窮者自立支援事業、一般校に通う潜在的な障害者のニーズへの対応
- ・ 難病患者への支援強化（難病患者就業支援連絡協議会の活用）
- ・ 業務連絡会議の開催

ウ) 職員の資質向上

- ・ 内外研修の利用
- ・ スーパービジョンを行い、事例考察力の向上

## (4) なのみり課

### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は「なかま一人ひとりの自己実現に向けて」という大きな課題に、個々に応じた日中・夜間のプログラムに工夫を加え支援に取り組んだ。また、安全衛生・危機管理の強化にも力を入れた。施設入所支援では、特に利用者や家族環境の変化に応じた適切なサービスの提供を心掛け、生活介護事業では、なのみ工芸の軽作業の体験等を通して作業の内容等の見直しを行うとともに、作業・余暇活動の種類を増やし、充実を図った。生活訓練事業は、年度途中で利用者不在となったが、利用希望のある卒業生2名の受入れを進めたい。短期入所・日中一時支援事業では、ご本人やご家族の高齢化が利用動機となっており、その対応を優先した。また児童の緊急受入れ相談や、2週間から2ヶ月間、朝夕の特別支援学校への送迎も含めた受入れも多くなった。咲では、新規計画相談作成に追われた一年でもあり、虐待防止センターの役割についても古賀市福祉課等と協力し対応している。さくらんぼキッズは地域に競合(NPO等の放課後デイサービス事業者)が増え、複数の事業所を掛けもち利用されているが、なのみり・工芸との連携によりプログラムの充実が図られ、利用減は最小限に止まっている。

### 2) 平成28年度(2016)年度の活動方針

継続課題である作業・活動の充実や、安全衛生・危機管理の強化に着目し、なかま一人ひとりの自己実現に向けた活動に取り組む。

### 3) 重点目標

- ①個々に応じたプログラムによる日中活動・夜間支援の提供
- ②安全で衛生的な快適居住空間の整備と維持管理
- ③計画的な研修による職員の資質向上・自己啓発の促進
- ④関係機関・各部署と連携による情報の共有化
- ⑤地域行事・活動への積極的な参加

### 4) 収入計画

福祉事業活動収入(見込み) 181,299千円

(生活介護事業、生活訓練事業、施設入所支援、短期入所事業、日中一時支援事業、さくらんぼキッズ、グループホーム、咲)

### 5) 具体的活動計画

- ①サービスの質の向上
  - ・サービス等利用計画に基づく個別支援計画作成と実施

- ・なかまと家族との連携による個別支援計画の充実
- ・サービス（施設）利用満足度調査の実施と改善

## ②地域活動

- ・ボランティアやサークル活動との交流
- ・地域コミュニティーへの積極的参加

## ③障害者虐待防止

- ・虐待防止委員会の定期開催
- ・所内外研修への積極的参加

## ④情報発信

- ・施設開放行事、交流会の継続実施
- ・地域コミュニティーへの情報発信
- ・ホームページ・ブログの有効活用

## ⑤各事業の取り組み

### <施設入所支援事業>

- ・休日夜間プログラムの改善
- ・重症化予防への対策実施
- ・快適な居住空間の整備と維持管理

### <生活介護事業>

- ・個別支援計画に基づいたサービスの提供
- ・長期的・将来的な視点に立った支援
- ・日中作業内容の改善
- ・作業環境の整備

### <生活訓練事業>

- ・日常生活に必要な訓練の実施
- ・楽しみながらの訓練計画
- ・個々にあったプログラムの計画と実施
- ・新規利用者の開拓

### <短期入所事業>

- ・緊急の利用者への対応
- ・虐待防止法による緊急短期入所の受入対応
- ・利用者情報共有化の徹底
- ・福岡コロニー短期入所事業との連携



<日中一時支援事業>

- ・休日利用者への対応の検討
- ・学校の長期休暇中における受入体制の確保
- ・利用者情報共有化の徹底

<さくらんぼキッズ（日中一時支援事業）>

- ・療育的な視点での支援の充実
- ・利用児童個別対応の充実
- ・利用者情報共有化の徹底
- ・ご家族との意見交換の実施
- ・関係機関との連携強化

<グループホームかづる>

- ・新規サービス提供の開始（なのみ工芸対象）
- ・快適な居住空間の整備と維持管理
- ・家庭的な雰囲気での生活環境の提供

<古賀市障害者生活支援センター咲>

- ・計画相談の依頼件数増への対策検討
- ・法人との連携強化

<地域交流スペース>

- ・交流スペース利用の推進
- ・地域住民向けの活用方法の検討

⑥健康管理

- ・緊急時の嘱託医との連携強化
- ・嘱託医による健康相談、定期健康診断の実施
- ・環境整備による衛生維持と感染症予防
- ・利用者に合わせた受診の継続、健康管理

⑦給食

- ・入所者誕生日（ハッピーメニュー）の実施
- ・長期休暇中のイベント食の実施
- ・セレクトメニュー実施（月1回）
- ・委託業者との連携強化（給食会議）

⑧安全衛生

- ・夜間、日中想定避難訓練の実施
- ・地震、水害を想定した避難訓練の実施

- ・地域の防災訓練への参加
- ・なのみ安全衛生委員会の活動開始
- ・交通安全に関する研修の実施
- ・ヒヤリハットによる事例検討
- ・定期的な安全確認と環境整備

#### ⑨設備管理

- ・空調・水回り等の計画的な改修と自主点検
- ・空調設備の計画的移行（ガスから電気へ）

## (5) あげぼの園課

### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

平成21年から指定管理を受託し7年が経過、次年度は指定更新5年契約の最終年となる。コロニーの歴史と実績、また民間としての特徴を活かし、様々な改善と新たなサービスの提供に努めてきた。今年度は、日中活動時間を見直したが、特に大きな混乱もなく移行することができた。さらに「地域」を意識した事業活動に力を入れ、社会資源の有効活用、地域交流に積極的に取り組んだ。

就労継続支援B型事業、就労移行支援事業では、目標を大きく達成し実績を残すことができた。生活介護事業でも「重度の障害のある方の働き方・表現の場」を追求し、地域の中で手話ダンスを披露することができ、地域との交流が深まった。

28年度は、相談支援事業所との連携強化と設備の経年劣化への対応が大きな課題となる。

### 2) 平成28(2016)年度の活動方針

指定更新5年契約の最終年度となり、これまでの実績をアピールし、指定更新に向けての準備に重点的に取り組む。7年間の取り組みで培った「地域」との関わりをさらに発展させ、「重度の障害のある方の働き方」を軸に工賃向上、一般就労への取り組みを充実させる。

### 3) 収入計画

<福祉事業活動収入>

総計 119,158千円

(事業内容) 就労継続B型事業、生活介護事業、就労移行支援事業  
施設入所支援事業

<就労支援事業収入計画>

総計 14,730千円

(事業内容) ハンガーリサイクル、簡易作業、印刷、縫製

### 4) 重点目標

- ①地域貢献の充実
- ②一般就労への取り組みの充実
- ③工賃向上のための取り組みの充実
- ④重度・高齢化に対応したサービスの充実
- ⑤虐待防止のための取り組みの充実
- ⑥コスト意識の徹底

## 5) 具体的活動計画

### ① サービス質の向上の取り組み

- ・相談支援事業者と連携した個別支援計画の作成
- ・利用者満足度調査の実施（1回／年）
- ・利用者との定例会（情報交換会）の実施（1回／月）
- ・各種研修会への参加による支援技術の向上
- ・福祉施策に関する情報収集の実施

### ② 地域への取り組み

- ・地域行事への参加とボランティアの受入
- ・地域の方や家族が参加できる行事の企画と実施
- ・各種協議会等への参加による地域ニーズの把握と情報交換
- ・社協と連携しての福祉学習への参加及び受入
- ・各専門学校、大学、特別支援学校の実習生の受入
- ・地域清掃の実施（1回／月）
- ・防災マニュアルの策定
- ・歯科協力医との連携による企画の実施

### ③ 障害者虐待防止（権利擁護）に向けた取り組み

- ・虐待防止のための勉強会の実施（4回／年）及び外部研修への参加
- ・掲示物等による啓発活動の実施

### ④ 情報発信に関する取り組み

- ・機関紙を活用した情報発信（4回／年）
- ・家族との意見交換会の実施（1回／年）
- ・ホームページを活用した情報の発信（1回／月）

### ⑤ 各事業の取り組み

#### <就労継続支援B型事業>

- ・障害者優先調達推進法を活かした営業活動と年間委託契約の受注
- ・地域での新規請負先の開拓と既存ラインの見直し
- ・ホームページを活用した営業活動
- ・印刷機のオペレーターの育成と効率的な稼働
- ・縫製におけるあけぼの園ブランド計画の実行
- ・生活ニーズに即した小物の開発

<就労移行支援>

- ・各種関係機関との連携による職場実習の実施
- ・個別支援計画に基づく目標と課題を明確にした支援の実施
- ・B型事業との連携による作業訓練を通じての就労スキルの向上
- ・就労移行支援担当者会議を活かした情報交換及び就労支援スキルの向上

<生活介護>

- ・地域との関わりを意識したプログラムの実施
- ・手話ダンスの発表機会の確保による活動の活性化
- ・日中活動の商品化による工賃の確保
- ・利用者企画プログラムの充実
- ・障害特性に配慮したプログラムの実施

<施設入所支援>

- ・長期休暇中における介護支援及び余暇活動の実施
- ・重度、高齢化における介護支援の充実

⑥健康管理に関する取り組み

- ・大腸がん検診の毎年受診への働きかけ
- ・リハビリプログラムの充実
- ・健康意識向上に関する取り組みの充実（口腔予防ケア等）

⑦給食に関する取り組み

- ・地産地消への取り組み強化と啓発活動の充実
- ・行事食やバイキング企画の充実
- ・給食会議（2回／年）や栄養士会議での連携強化によるサービスの質の向上
- ・調理員との勉強会と情報交換の実施

⑧安全衛生に関する取り組み

- ・安全衛生委員会による年間計画に基づく職場巡視の実施
- ・昼間・夜間想定避難訓練の実施（2回／年）
- ・普通救命講習会の実施（1回／年）
- ・地域への防災、安全メールによる情報発信
- ・オゾン発生器の計画的活用と害虫駆除（1回／年）

⑨設備管理に関する取り組み

- ・消防設備保守（2回／年）
- ・空調設備保守（4回／年）

- ・自動ドア保守（3回／年）
- ・自家用電気工作物保守（毎月）・ボイラー（1回／年）・貯水槽（1回／年）
- ・厨房内ダクト（1回／年）・園内定期清掃（1回／月）
- ・作業棟、管理棟の定期清掃（1回／3ヶ月）・寮内清掃（1回／年）

## (6) コロニー課

### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

「新しい施設で、快適な生活」を重点課題に職員一丸となってサービスの提供に取り組んで一年であった。また、入所利用者増に伴い、休日・夜勤を含めた勤務体制を見直し、安全面を考えた支援体制に努め、さらに価値ある施設を、長く大切に使用できるように掃除や定期的な点検を継続していく。27年度は、利用者全員参加による日帰り旅行を、約10年ぶりに実施したことも大きな成果である。次年度以降も継続し、1年の核となる行事の一つとしたい。作業面では、新しい作業の導入を工賃向上に繋げるとともに作業意欲の向上に努めた。生活面では、入浴介助、受診同行など、要介護の利用者が増えており、アセスメントを十分に行う必要がある。28年度は昨年度に引き続き、課内の情報共有・連携強化と職員個々の資質の向上を図り、サービスの質の向上を目指す。

### 2) 平成28(2016)年度の活動方針

提供するサービスの目的や意味を一つ一つ考え、確認しながら個々の支援活動に取り組むことで、サービスの質を向上させる。

- ①質の高いサービス提供の前提となる職員個々の資質の向上
- ②チームとしての機能強化

### 3) 収入計画

福祉事業活動収入

総計 178,291千円

(就労継続支援B型、施設入所支援、生活介護、就労移行支援、短期入所  
相談支援事業)

就労支援事業収入

総計 10,940千円

(さをり織り、製麺、新聞回収、売店、軽作業)

### 4) 重点目標

- ①職員個々の資質の向上
- ②チームとしての機能強化

## 5) 具体的活動計画

### ①サービスの質の向上

- ・ サービス利用計画と連動した個別支援計画の作成・実施
- ・ 入所支援の充実
- ・ 所内外の研修を通じた職員の質の向上
- ・ 介護技術の向上
- ・ 障害者総合支援法の見直し、障害者権利条約の学習

### ②地域への取り組み

- ・ 社会福祉協議会、近隣施設等との連携
- ・ 福祉学習の継続
- ・ 家族参加行事の検討
- ・ 地域ボランティアの受け入れ

### ③障害者虐待防止

- ・ 虐待防止に関する事例の検討
- ・ チェックリスト等による意識の向上
- ・ マニュアルの整備

### ④情報発信に関する取り組み

- ・ 施設内行事や活動の発信
- ・ ホームページを活用し情報発信
- ・ 福祉情報の共有化

### ⑤各事業の取り組み

#### <就労継続支援B型事業>

- ・ 新規作業導入による、作業意欲及び作業工賃の向上
- ・ 年間販売計画に伴う、製造計画の作成及び実施
- ・ 原材料費の洗い出しと、適正価格の設定

#### <就労移行支援>

- ・ 新規利用者獲得に向けた取り組み
- ・ ちどり、あけぼの、なのみ工芸と連携したプログラムの構築
- ・ 就労移行支援担当者会議での情報共有
- ・ ハローワーク、職業センターと連携した支援

#### <生活介護>

- ・ 新規作業導入による作業意欲や利用率の向上



- ・ニーズを踏まえた新しいレクの企画・実施
- ・利用者が企画から参画するプログラムの実施

<施設入所支援>

- ・ユニット会議の実施
- ・介護体制の充実
- ・緊急時を含む対応マニュアルの作成

<共同生活援助>

- ・グループホームの新規開設に伴い、主幹の移行
- ・スムーズな移行と連携

<相談支援事業所>

- ・個別支援計画と連動した、サービス利用計画の作成
- ・行政、関係機関と連携

⑥健康管理

- ・健康診断後の個別事後指導の充実
- ・メンタルヘルスケアの推進
- ・相談業務の強化
- ・感染症の予防

⑦給食

- ・美味しく、楽しく食べるための工夫
- ・誕生日メニューの開始
- ・セレクトメニュー、デザートビュッフェの継続

### 3 総務部

#### (1) 平成27(2015)年度の反省と今後の課題

27年度は、施設整備に伴う借入金の支払いに向けた「経営の安定化」の実現を最優先課題として取り組んだ。また、事業運営の基本的な目標である「質の高い福祉サービスの提供」を維持・継続するため、各部門間の連携強化の推進などを重点課題とした。具体的には、予算管理を徹底し、経費削減の啓発に努めた。福祉事業部で想定外の収入減となったが利用者、職員、従業員に対する処遇は計画通り実施できた。

しかし、我々が目指す「質の高い福祉サービスの提供」というハードルの高い目標を達成するには、各部門の持つ個別の機能を十分に発揮させるとともに、連携強化が必須条件であり、さらなる改善、実践に取り組む。

#### (2) 平成28(2016)年度重点目標

- 1) 安定した事業体制の確立
  - ①事業の管理・運営
  - ②予実算管理の徹底
- 2) 人事・組織管理体制の確立
  - ①総合的な人事考課と管理
  - ②人材教育の充実
- 3) 環境整備への取り組み
  - ①安全で安心して生活し、働ける環境整備

### (3) 総務課

#### 1) 平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は生活・職場環境が一新、新しい建物でのスタートとなり、環境の維持管理に特に力を入れた1年となった。また、年度当初より建設資金借入金の返済開始に向けた資金繰りを念頭に、経費節減を徹底した。環境の維持・管理については、ほぼ計画通り実践できたが、福祉事業部の想定外の収入減など、厳しい収支見込みとなったが、賞与等は当初の計画通り支給した。しかし、人材確保の面で計画に沿って補充ができず、また人事面での改善も進まなかった。

今後、さらに厳しさを増すことが予測される事業運営に加え、特定個人情報保護法や障害者差別解消法等の施行、社会福祉法人制度改革と、法人を取り巻く様々な環境の変化に確実に対応すべく、より多くの、しかも正確な情報収集とその対応策を検討し、それを実践できる体制強化に努める必要がある。

#### 2) 平成28(2016)年度重点目標

##### ①安定した事業体制の確立

###### ア) 事業の管理・運営

- ・膨大となる作業量の効率的処理
- ・社会福祉法人制度改革への対応検討

###### イ) 予実算管理の徹底

- ・各部署と連携した管理
- ・就労事業部門と福祉事業部門の連携支援

##### ②人事・組織管理体制の確立

###### ア) 総合的な人事考課と管理

- ・昇給・昇格、賞与支給査定等の効率化
- ・人事管理システムのデータ作成
- ・採用計画の立案と適切な人材確保

###### イ) 人材教育の充実

- ・個々の能力を活かすための研修計画

##### ③環境整備への取り組み

###### ア) 安全で安心して生活し、働ける環境整備

- ・定期的なチェック及び迅速な対応
- ・中長期的な計画の検討

### 3) 庶務係

#### ①平成27(2015)年度の反省と課題

27年度は「福岡コロニー」及び「わーくはうすコロニー」の建物が新しくなり、充実した生活・職場環境が整備された。しかし、築30年以上の古い建物も残っており、中長期的な整備計画の検討が必要である。また、新しい建物については維持・管理はもちろん、利用者にとってより充実した環境整備を行う必要がある。人材の確保については、将来を見据えて新規学卒者を中心とした採用計画をたてたものの、求人難は厳しさを増す一方で、予定した人員計画には至らず、各部署に苦勞を強いることとなった。

#### ②平成28(2016)年度重点目標

##### ア) 人材の確保

###### a) 人員体制目標

- ・従業員121名、嘱託36名、パート21名、利用者230名
- 総計408名

##### イ) 人材の育成

###### a) 内部研修の実施

- ・新人研修(4月)
- ・管理監督者研修(7月)
- ・一般研修(10月)

###### b) 外部研修の積極的参加促進

##### ウ) 人事システムの効果的活用

###### a) 基本データの入力継続

##### エ) 生活・職場環境の整備

###### a) 既存設備の環境整備

###### b) 新規設備中長期的計画の検討

##### オ) 新規事業への協力・支援

###### a) 販促への取り組み

### 4) 経理係

#### ①平成27(2015)年度反省と課題

27年度は、継続課題である事務体制の強化策として、「個人スキルの向上・処理の効率化」を重点に取り組んだ。資格学習を通じた会計知識の向上に伴い、係内での業務配分の適正化が図られ、日々のルーチン業務の効率化に繋がってきている。売掛金は、法人全体としてシステム活用が進み回収は順調であり、利用料未収金に関しても、福祉事業部と上半期から密に連携を取り、相互精査を進めた結

果、効率的な回収を進める事務体制の構築ができた。

社会福祉法人制度改革に伴い、当法人にも会計監査が義務化されることとなり、28年度の財務諸表から監査対象となる。こうした状況に対応するために、喫緊に会計基盤の改善を推し進め、より強固な管理体制の構築を図っていく

## ②平成28（2016）年度重点目標

### ア) 社会福祉法人制度改革への対応

#### a) 会計監査を見据えた管理体制構築

- ・企業会計を基準にした実務手法の導入
- ・内部統制の見直しと再整備
- ・改正法案の内容精査及びその対応

### イ) 未収金・売掛金の早期回収

#### a) 商業ルールの周知徹底と他部門との連携

- ・就労支援担当係員への経理主催による勉強会
- ・相互精査のルーチン業務化による長期未収の防止

### ウ) 予実算管理の徹底と管理会計への取り組み

#### a) 経費支出の管理

- ・各部門における詳細なヒアリングと予算化の徹底

#### b) 法人経営に活用できる資料作成

- ・幹部会議資料等の改善

#### (4) 人事教育計画

##### 1) 人員計画

|     |     |      |    |     |     |      |
|-----|-----|------|----|-----|-----|------|
| 総人員 | 従業員 | 121名 | 嘱託 | 36名 | パート | 21名  |
|     | 利用者 | 230名 |    |     | 合計  | 408名 |

##### 2) 人件費計画

27年度は基本給を平均1等級程度の増、年間賞与2.7ヶ月分を実施した。中途採用は極力避けて、将来を担う人材の確保を目指した。人員不足の解消には各部門間の異動に努めた結果、人件費削減にもつながった。28年度は借入金の元金返済が本格的に始まり更なる経費節減が必要ではあるが、福祉事業・就労支援事業のバランスを考慮しつつ各々の処遇改善に努める。

##### 3) 労務計画

①年間労働日数 240日（休日日数123日） 20日／月

②年間労働時間 1,840時間 153.33時間／月

③36協定に基づく時間外勤務・休日勤務の制限

時間外勤務：1日8時間、3ヶ月120時間、年間360時間

休日勤務：1ヶ月法定休日の2日間を除く休日

④休日及び休暇

ア) 休日：土曜日、日曜日、祝日

年末年始（12月30日～1月4日）

イ) 休暇：夏季特別休暇（8月12日、15日、16日）

##### 4) 教育訓練計画

教育・研修計画に基づき新人研修（4月）、一般研修（10月）、管理監督者研修（7月）、専門職研修等を実施する。特に外部研修を有効活用し、専門分野の知識の向上を図る。

## (5) 資金計画

### 1) 資金運用計画

27年度は前年度からの借入金返済開始及び福祉事業収入の減少により大幅な利益減が予測されたが、就労支援事業収支の売上の安定及び内部異動等による人件費の削減により、なんとか収支を安定させることができた。28年度も引き続き可能な限りの経費節減を行いつつ、人員整備・環境改善等の中長期的計画を検討し、就労支援事業・福祉事業の収支バランスの改善を図る。夏期賞与及び年末賞与資金は例年同様に市中銀行から7月に20,000千円、12月に30,000千円、年間50,000千円の借入を実施の計画とする。

### 2) 長期資金借入・償還計画

平成28年度は、既借入金の返済のみとし、別表の通りとする。

長期借入金一覧及び平成28年度償還明細

| 借入年度  | 借入用途           | 借入金額    | 現在残高    | 28年元金  | 28年利息 | 償還金計   | 最終期限     |
|-------|----------------|---------|---------|--------|-------|--------|----------|
| 平成11年 | なのみの里建設(福)     | 110,000 | 22,000  | 5,500  | 440   | 5,940  | 平成32年1月  |
| 平成23年 | 福祉工場機器(スピカ)(市) | 27,000  | 4,050   | 4,050  | 31    | 4,081  | 平成28年12月 |
| 平成23年 | 福祉工場改修(トイレ)(市) | 6,000   | 1,200   | 1,200  | 13    | 1,213  | 平成29年3月  |
| 平成26年 | 福岡コロニー建設(福)    | 279,100 | 276,471 | 15,012 | 1,078 | 16,090 | 平成46年8月  |
| 平成26年 | 福岡コロニー建設(福)    | 94,400  | 93,483  | 5,076  | 0     | 5,076  | 平成46年8月  |
| 平成26年 | 福岡コロニー建設(市)    | 30,000  | 26,500  | 3,000  | 497   | 3,497  | 平成37年1月  |
| 平成26年 | 福岡コロニー建設(市)    | 30,000  | 26,750  | 3,000  | 501   | 3,501  | 平成37年2月  |
| 合 計   |                | 576,500 | 450,454 | 36,838 | 2,560 | 39,398 |          |

(福)：独立行政法人福祉医療機構 (市)：市中銀行

(6) 行事予定表

| 月  | 日                    | 行事   | 主管   | 備考  |
|----|----------------------|--|--|---|
| 4  | 1<br>1~31            | 入所式<br>新人研修  | 総務課<br>総務課   | 新入所者全員<br>新入所者全員  |
| 5  | 8<br>下旬              | 福岡県身体障害者体育大会<br>福岡県知障協ティール・グランドゴルフ大会<br>法人評議員会・理事会   | 福祉事業部<br>福祉事業部<br>総務部                              | 希望者・推薦者<br>希望者・推薦者<br>決算・事業報告                             |
| 6  | 2,3                  | ゼンコロ理事会・総会   |  | 理事長   |
| 7  | 初旬<br>下旬             | 全国労働安全衛生大会<br>福岡県知障協ソフトバレー大会<br>管理監督者研修  | 安全衛生委員会<br>福祉事業部<br>総務課                            | 全員参加<br>希望者・推薦者<br>管理監督者                                  |
| 8  | 上旬<br>12,15,16<br>27 | 定期健康診断<br>夏季特別休暇<br>祭コロニー2016  | 福祉事業部<br>祭実行委員会                                    | 全員参加<br>全員参加  |
| 9  | 中旬                   | ときめきスポーツ大会<br>防火避難訓練   | 福祉事業部<br>総務課・福祉事業部                                 | 希望者・推薦者<br>全員参加   |
| 10 | 上旬<br>1<br>中旬<br>下旬  | 一般研修<br>創立記念式典・運動会<br>福岡県知障協ソフトボール大会<br>粕屋北部地区自衛消防訓練競技会<br>福岡県障害者技能競技大会<br>福岡県知障協ディスコパーティー | 総務課<br>総務部・福祉事業部<br>福祉事業部<br>総務課<br>コロニー課<br>福祉事業部 | 中途採用者・推薦者<br>全員参加<br>希望者・推薦者<br>希望者・推薦者<br>希望者・推薦者<br>希望者 |
| 11 | 中旬<br>17,18<br>下旬    | まつり新宮<br>まつり古賀<br>幹部研修会<br>ゼンコロ理事会・総会<br>法人評議員会・理事会  | コロニー課<br>なのみ工芸課<br>総務部<br>総務部                      | 出店販売<br>出店販売<br>管理監督者全員<br>理事長外<br>補正予算                   |
| 12 | 中旬<br>29<br>30~1/4   | クリスマス忘年会<br>仕事納め<br>年末年始休日   | 福祉事業部<br>総務部・福祉事業部                                 | 全員参加<br>全員参加  |
| 1  | 5<br>10              | 仕事始め<br>古賀市成人式記念駅伝大会<br>新成人祝い  | 総務部・福祉事業部<br>福祉事業部<br>総務部・福祉事業部                    | 全員参加<br>希望者・推薦者<br>該当者                                    |
| 2  | 上旬<br>下旬             | 定期健康診断<br>事業計画策定会議   | 福祉事業部<br>総務部                                       | 全員参加<br>管理監督者全員   |
| 3  | 2,3<br>中旬<br>下旬      | ゼンコロ理事会・総会<br>防火避難訓練<br>法人評議員会・理事会   | 総務課・福祉事業部<br>総務部                                   | 理事長<br>全員参加<br>予算・事業計画                                    |

○部長会・部課長ミーティング 毎週初め(月) ○部課長会 毎月最終水曜日

○幹部会議 毎月中旬 ○製販会議 毎月下旬

○安全衛生委員会全体会 6月、9月、12月、3月上旬



(7) 年間カレンダー

4月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

5月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

6月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |

7月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 |    |    |    |    |    |    |

8月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |    |
|    |    |    |    |    |    |    |

9月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |
|    |    |    |    |    |    |    |

10月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |

11月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |
|    |    |    |    |    |    |    |

12月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|    |    |    |    |    |    |    |

1月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

2月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 |    |    |    |    |

3月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

○夏季特別休暇 8月12・15・16日 ○年末年始休日 12月30日～1月4日

○祭コロニー 8月27日(振替休日) ○創立記念式典 10月1日(振替休日)

## (8) 安全衛生委員会

### 1) 平成28(2016)年度活動計画

#### ①安全班

27年度は、長年の悲願である目標「労災事故0」が達成できそうである。28年度も「労災事故0」を目指し、様々な活動に取り組む。労災事故が発生しなかった要因の一つとして建替えによって職・住環境が大きく改善され、完全バリアフリー化など、事故発生の要因が減ったとも考えられる。活動としては、全国安全週間期間中、安全班メンバーにて、法人本部・なのみの里・工芸・あけぼの園の職場巡視を実施した。年末には、前年度3件の事故の型でもある「転倒防止」に関する啓発資料を作成し回覧した。28年度も職場巡視による問題点の指摘、リスクアセスメントの再実施等を推し進めることにより、安全意識の向上及び事故防止を目指す。

<主な活動計画>

- ・「労災事故0」への啓発活動・対策の実施
- ・リスクアセスメントの実施推進
- ・全国安全週間への参加
- ・4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）の推進
- ・事故検証による再発防止・啓発活動の実施
- ・職場巡視の実施
- ・安全日（毎月15日）での啓発

#### ②衛生班

今年度も昨年より継続した健康診断後の事後指導の強化に取り組んだ。定期健診の受診率は、100パーセント（入院は除く）受診ができた。事後指導として保健室での個別保健指導と並行して産業医による健康相談、健康保険組合による個別保健指導を実施した。今後も個別の事後指導に力を入れ一緒に生活改善に導いていきたい。感染症予防については11月の第1週を感染症予防週間と意識付け予防接種や感染予防啓発をおこなった。

受動喫煙防止は継続的に取り組まれている。世界禁煙デーにあわせて、一日禁煙デーを全所内で年6回実施予定。禁煙ポスター等を掲示し啓発活動を継続していきたい。

<主な活動計画>

- ・全国労働衛生週間への取り組み計画と実施
- ・年間保健衛生行事にそった全所的な啓発活動の継続
- ・感染症予防週間、受動喫煙防止にむけての啓発活動の継続
- ・産業医、職長と連携をとり、作業姿勢や椅子、机等の見直し改善をおこなう。

### ③交通班

平成27年度の事故件数は、10件(上半期7件、下半期3件)となった。昨年事故件数が17件と過去最大となり講習会の実施や班員による各職場の朝礼等を利用して啓発活動を実施し現在に至っている。事故内容としては、安全確認注意不足による接触事故がほとんどであり、バック時における唐突、接触となっている。

交通班においては、運転技術や安全意識の向上に指導・教育が不十分と反省し、講習会等の定期的開催等行っていかなければならない。

28年度は、交通ルールの遵守と運転マナーアップ、道交法改正による自転車運転対策を重点とした安全運転に対する教育・指導・安全管理を強化し、事故0件を目標に個々人の安全意識の高揚を図っていく

<主な活動計画>

- ・交通安全講習会の実施
- ・街頭啓発による安全運転への教育・指導の強化
- ・業務車輛への安全対策の徹底
- ・朝礼ならびに広報誌の活用による安全運転の啓蒙

### ④防災班

27年度は消防計画にそって防火設備点検、所内防災チェック・防火避難訓練を実施、地域防災協会主催の訓練競技会に参加し、非常災害時の避難要領把握、消防技術の向上、防火意識の徹底につながった。特に新しい建物での防火避難訓練では新たな環境での防災体制の確認ができた。今後は防火のみならず、地震風水害等に対する防災意識を向上させる必要がある。

<主な活動計画>

- ・消防計画に沿った防災体制の整備、防火避難訓練の実施
- ・自然災害への対策検討・訓練実施
- ・自衛消防組織の強化と管理
- ・地域防災活動への積極参加

## (9) 特別プロジェクト

### 1) 中長期計画策定委員会ワーキングチーム

委員長：小峠 繁 委員：22名 事務局：総務課

#### ①活動計画

- ・新規事業、新サービスの検討
- ・作業、生活環境の確認・検討
- ・人材の育成、管理体制の検討

### 2) コロニーふくおか編集委員会

委員長 小峠 繁 委員：8名 事務局：制作課

- ・発行 4回／年（季刊）
- ・発行部数 850部
- ・編集会議 毎月1回
- ・サイズ及び頁数 A4 16～24頁
- ・印刷仕様 4色カラー印刷

#### ①活動計画

- ・情報公開の手段としての活用
- ・PR誌や製品見本としての活用
- ・内外への情報発信媒体としての活用
- ・掲載内容の充実

(10) 管理組織図

